



もりもとNEWS

今月の目標：周りを笑顔にさせる存在を目指します！

ご挨拶

今回は我が家の猫たちをご紹介します

皆様いつも「もりもとNEWS」をご覧いただき、ありがとうございます。
 今回は、我が家の猫たちをご紹介します。
 長男(黒猫):トム、長女(キジトラ):ナツ、次男(茶トラ):フク。
 3匹とも、息子たちが学校の帰り道で、捨てられ弱っていた子猫の時に保護してきた子たちです。
 次男フクに関しては、まだ我が家に来て3ヵ月の新参者。毎日兄弟にイタズラを仕掛けて猫パンチをくらう。人間に助けを求め甘えてくる子猫です。
 息子たちが保護してきた子たちなので、ごはんやトイレの基本的なお世話は息子たち。お小遣いで、おツヤおモヤを男、てきぱきとこなすのがお得意な息子たちです。
 猫たちのお世話を通して「命」について学んでいるように思います。



今月のちょっとしたいい話

ポジティブな影響

慶応義塾大学名誉教授のボブ・トビンさんは、著書のなかで「人に対してポジティブな影響を与える存在になろう」と勧めています。
 ポジティブな影響とは、言葉や行動で相手に前向きな変化や感情をもたらすことをいいます。たとえば、あなたが掛けた言葉で誰かが前向きになったり、笑顔になったりすることです。
 具体的には、励ます、勇気を与える、その場の空気を明るくする、相手を褒める、話に耳を傾けるなどです。「ありがとう」という一言を添える、いつも笑顔でいるといった一見ささやかなことでもいいのです。
 また、「厳しい言葉を掛ける」「ノーとはっきり言う」ことも、時にはポジティブな影響を与えるとトビンさんは説明しています。
 大事なことは、一人よがりではなく、相手のためになるかどうかを見極めることだといえるでしょう。
 トビンさんは、誰かのためになることを続けることで、周囲の人はもちろん、自分自身の人生が良い方向に変わっていくと語ります。
 今日から早速始めてみたい習慣です。

誰かを笑顔に

モリモト目線

営業の駆け出しの頃、仕事でミスをしてしまい、お客様からクレームを頂いたことがありました。なかなかお許しがいただけず、何度も何度も謝罪訪問をさせていただいていました。
 もうどうしたらいいのかわからないと、完全に参ってしまっていた時、先輩から「命まで取られるわけじゃないんだから、下ばかり見てないで上向いていけ」と声を掛けられました。
 なんてことない言葉かもしれませんが、当時の私は完全に視野が狭くなり、周りが全く見えていない状態でしたが、何か目の前がパッと開けたような感覚になりました。
 そのおかげで無事お客様からもお許しがいただけ、最後は当時の事を笑い話に食事をさせていただく関係になりました。
 いつか、私も、後輩にそんな言葉をかけてやれる人間になりたいと思います。



『月刊朝礼』2023年11月2日の記事より(コミニケ出版発行)

プロフィール

【名前】 森本 尚亮 (もりもと タカアキ) ニックネームは「タカちゃん」	【個人情報】 1982年8月2日生まれ 成年 獅子座 O型	【好きなお笑い芸人】 ティモンディ 高岸	【ダイエット情報(3月～)】 81.0kg(-8.0kg) ※先月から+1kg
	【出身】 奈良県生まれ 奈良県育ち	【家族構成】 妻、長男(高2)、次男(中3)、三男(中1) (息子3人ともが野球に熱中しています)	【最近のNEWS】 長男の高田商業、 3年連続近畿大会出場

Twitter 始めました!

